

9月10日は下水道の日

下水道 地球を守る リサイクル

川や海を守り、快適な生活を送るために

清潔で快適な生活を送るため、また公共用水域の水質保全を図るため、生活排水の処理には、下水道はなくてはならない施設です。そのため、日ごろから気を付けて、正しく使いましょう。

川や海を汚さないために、家庭で身近にできること

- ・ 流し台には三角コーナーを置いて、料理くずや残りかすを流さない。
- ・ 汚れのひどい物や油類は、紙などでよく拭き取ってから洗う。
- ・ お風呂の残り湯は、水を大切にするためにも、洗濯などに再利用する。
- ・ 洗濯などに使用する洗剤は、正しく量ってから使用する。



正しく使いましょう。みんなの下水道！

下水道が整備されたからといって、何でも流して良いというわけではありません。下水道施設は、長い年月とたくさんの費用をかけて建設した公共の財産です。下水道に汚水を流すときには、一人ひとりが十分に注意して使用しないと、故障や事故の原因となり、設備の寿命を縮めます。皆さんの気配りが処理施設の維持や下水管の機能の保持につながります。



水洗トイレにはトイレットペーパー以外流さないでください。水に溶けない紙おむつ、たばこ、ガムなどを流すと、詰まりの原因になります。



油類は直接流さないでください。下水管で石けんと化合して固まり、詰まりの原因となって、処理場の機能を低下させます。



台所では、野菜くずやご飯を流さないでください。詰まりの原因となります。また、ディスポーザー（食品くず処理器）で細かくしても詰まるので、使用しないでください。



下水道に有害物を流さないでください。ガソリン、シンナー、石油、アルコール類など揮発性の高い危険物を流すと、大爆発を起こす原因となります。またごみや土砂などは詰まりの原因となります。

伊予市の下水道

生活排水等の汚水を処理するために、伊予処理区では伊予市下水浄化センターが、中山処理区では、中山町浄化センターが供用されています。

平成20年度末の整備状況は、伊予処理区で整備済み面積が296.9ha、整備済み管路延長は742,000mとなっています。また中山処理区では、整備済み面積が55.0ha、整備済み管路延長は、10,900mとなっています。

公共下水道以外の処理施設

公共下水道の処理区以外に、農業集落排水整備事業と浄化槽設置整備事業により、市内全域の下水道整備に取り組んでいます。農業集落排水整備事業については、大平処理区、佐礼谷処理区、犬寄処理区、源氏処理区が供用されています。



▲犬寄地区農業集落排水処理施設

(平成20年度実績)

	犬寄地区農業集落排水処理施設	源氏簡易排水処理施設
供用開始	平成10年7月	平成6年4月
計画処理能力	27m ³ /日	14m ³ /日
水洗化人口	62人	38人
施設規模	100人槽	55人槽
処理方法	沈殿分離接触ばっ気方式	

下水道供用開始区域の皆さんが、家庭の排水設備工事をするこゝで、下水道に汚水が流れ、街がきれいになり、川や海の環境保全に役立ちます。一日も早い接続で、住みよい街づくりを目指しましょう。

今後も、より多くの皆さんに下水道施設を利用してもらえるよう整備を進めていきますので、ご理解とご協力をお願いします。

下水道に関する問い合わせ

- ①使用料や受益者負担金に関するこゝ 下水道課(内線576・599)
- ②工事に関するこゝ 下水道課(内線585・586)
- ③施設や排水に関するこゝ 下水浄化センター(☎983-5998)



- 太鼓 1台
- 太鼓台 1台
- 担ぎ棒 1本
- バチ 2組

宝くじ助成事業は、財団法人自治総合センターが、地域のコミュニティの活性化を目的として実施しています。

このたび、宮下地区に太鼓1台が整備されました。



宝くじ助成事業は、財団法人自治総合センターが、地域のコミュニティの活性化を目的として実施しています。

宮下地区に「太鼓1台」が整備されました